

第七十三回帝國議會
衆議院

昭和十二年法律第九十二號中改正法律案
(輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第九回

付託議案

昭和十二年法律第九十二號中改正法律案(輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)
商業組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
有價證券業取締法案(政府提出、貴族院送付)
有價證券引受業法案(政府提出、貴族院送付)
重要物產同業組合法中改正法律案(原玉重君外十三名提出)

會議

昭和十三年三月十九日(土曜日)午後一時五十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 寺島 權藏君

理事高橋 義次君 理事川崎巳之太郎君

松田 正一君 小山倉之助君

渡邊玉三郎君 原 玉重君

小林房之助君 眞鍋 儀十君

鈴木 英雄君 板野 友造君

世耕 弘一君 星島 二郎君

伊東 岩男君 田中源三郎君

江羅直三郎君 宮本雄一郎君

林 路一君 岡崎 憲君

松永 義雄君 田中 耕君

同月十七日委員津原武君辭任ニ付其ノ補闕トシテ片岡恒一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十七日委員長津原武君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十九日寺島權藏君委員長

ニ當選セリ

同月十九日理事寺島權藏君委員長當選ニ付其ノ補闕トシテ本田彌市郎君理事ニ當選セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏省銀行局長 入間野武雄君

商工政務次官 木暮武太夫君

商工參與官 佐藤謙之輔君

商工省商務局長 新倉 利廣君

商工省工務局長 小島 新一君

商工省統制局長 黑田 鴻五君

貿易局長官 寺尾 進君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十二年法律第九十二號中改正法律案

(輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

商業組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

有價證券業取締法案(政府提出、貴族院送付)

送付)

有價證券引受業法案(政府提出、貴族院送付)

○高橋委員長代理 是ヨリ會議ヲ開キマス、津原君ガ御病氣ノ爲ニ委員長ヲ御辭任ニナリマシタノデ、此場合委員長ノ補闕選舉ヲ行ヒマス

○川崎委員 選舉ノ手續ヲ省略スル爲ニ、私ガ推薦致シタイト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○川崎委員 ソレデハ寺島權藏君ヲ委員長ニ御願シタウゴザイマス

○高橋委員長代理 只今ノ川崎君ノ御發議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○高橋委員長代理 御異議ナシト認メマス、寺島權藏君ガ委員長ニ御當選ニナリマシタ、此席ヲ譲リマス

〔拍手起ル〕

〔寺島權藏君委員長席ニ著ク〕

○寺島委員長 御推薦ニ依リマシテ暫ク此席ヲ汚シマス、理事一名ノ後任ヲ決定致シタイト思ヒマスガ、委員長カラ指名致シマシテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○寺島委員長 ソレデハ本田彌市郎君ニ御願致シマス

〔拍手起ル〕

○寺島委員長 是ヨリ討論ニ入リタイト思ヒマス——高橋君

○高橋委員 私ハ民政黨ヲ代表致シマシテ、極メテ簡單ニ昭和十二年法律第九十二號中改正法律案、竝ニ商業組合法中改正法律案、此二案ニ對シテハ原案賛成、有價證券業取締法案ニ對シマシテハ、貴族院修正通り賛成ノ意見ヲ表明致シマス、但シ昭和十二年法律第九十二號中改正法律案、竝ニ商業組

合法中改正法律案ニ對シテハ、各會派共同ノ提案ヲ以チマシテ、附帶決議ヲ付スベキコトヲ表明致シマス、以下極メテ簡單ニ贊成ノ意見ヲ陳述致シマス、昭和十二年法律第九十二號中改正法律案、本案ノ骨子トスル所ハ、物資ノ需給關係ヲ最モ圓滿的確ナラシムルガ爲ニ、需給調整協議會、此設置ヲ目論ミ、其運行ヲ最モ適切ナラシメントスルノ趣旨ニアリマス、有ユル角度カラ之ヲ檢討致シマシテ、極メテ適切ナル立案デアルト考ヘマスカラ、其意味ニ於テ贊成ノ意ヲ表シマス、商業組合法中改正法律案、此法案ニ對スル私共ノ意見ト致シマシテハ、中小商業者ノ疲弊困憊セル深キ原因ヲ探究致シマシテ、之ニ適應シタ機構ノ確立ヲ爲スコトニ對シマシテハ、私共最モ贊成スル者デアリマス、其意味ニ於テ商業組合ノ事業範圍ヤ、統制機構ヲ擴充シ、且ツ統制確保ノ方法ヤ、監督規定ノ確立補充ヲ致シマスト共ニ、中樞指導機關タル商業組合中央會ノ法制化ヲ目的トスル本案ニ對シマシテハ、是亦總テノ角度カラ檢討考究ヲ致シマシテ、極メテ適切デアルト考ヘルノデアリマス、唯產業ノ全面的ナ進展ヲ圖リマスノニハ、一部局ニ著眼スルダケデハナク、其視野ヲモット廣範圍ニシテ、終局ノ

目的ヲ達スルノ必要アルコトヲ考ヘマシテ、敢テ附帶決議ヲ付シタ次第デアリマス、第三ノ有價證券業取締法案ニ付キマシテハ、是亦事實ニ即シ、實情ニ照ラシテ適切ナリト考ヘルノデアリマス、質問中ニモ明ニナツテ居リマスガ、此場合將來有價證券業ノ免許ニ付キマシテハ特ニ當局ハ意ヲ用ヒテ、最モ嚴正ニ是ガ處置ヲ爲サンコトヲ希望致シマシテ、贊成ノ意ヲ表スル次第デアリマス、茲ニ各派ノ共同提案ニ係ル附帶決議ヲ朗讀致シマス、先ヅ昭和十二年法律第九十二號中改正法律案ニ對スル附帶決議

附帶決議

一 政府ハ速ニ「パルプ」資材供給ニ關スル根本對策ヲ確立スルト共ニ「パルプ」ノ節約及廢物利用ノ具體策ヲ樹テ萬遺憾ナキヲ期スヘシ

次ニ商業組合法中改正法律案ノ附帶決議ヲ朗讀致シマス

附帶決議

一 現今ノ組合制度ノ全般ニ互リ再檢討ヲ爲シ之ヲ統合調整スル爲メ關係法律ノ改正ヲ行ヒ組合制度ノ完璧ヲ期シ其組織機能ヲ十分活躍セシムヘシ

一 政府ハ本法案第二十七條ノ二ニ依リ新ニ商業組合ノ設立ヲ命スル場合ニ於

テハ其地區内ニアル他組合ノ實狀及關係ヲ考慮シテ慎重ヲ期スヘシ

以上ヲ以テ贊成ノ意見ト致シマス

○川崎委員 私ハ立憲政友會ヲ代表致シマシテ、此二法案ニ對シマスル態度ヲ申述ベ

タイト思フノデアリマス、第一ニ昭和十二年法律第九十二號中改正ノ件、是ハ需給調整協議會ヲ組織シテ、需給調整ヲ更ニ強化スルト云フコトデゴザイマスルカラ、非常時體制ノ下ニ於テ、大イニ必要ナコトデアルト思ヒマスノデ、之ニ贊成ヲ致シマス、ソレカラ此調整方法ニ付テ色々疑問其他ガゴザイマシタケレドモ、ソレハ商工大臣以下政府委員ノ方々ノ御説明ニ依リマシテ、吾々委員ノ心配ノナイヤウニ運用ヲセラルコトノ御約束デゴザイマスノデ、ソレニ信賴ヲ致シマシテ、是ハ前ニ高橋君ノ述ベラレマシタ所ノ、「パルプ」資材供給ニ關スル根本策云々ノ附帶決議ヲ附シテ贊成スルノデアリマス

次ニ商業組合法中改正案デゴザイマスガ、是ハ色々當局ガ實驗ヲセラレタ結果、モウ少シ各組合ノ統合調整ヲ十分ニシナケレバナラスト云フコトデ、統制ヲ強化スルノヲ主トシテ斯様ナ改正案ヲ出サレルト同時ニ、又其商業組合ニ商品券ヲ發行スル特

權マデモ與ヘタノデゴザイマス、之ニ付キマシテ各組合トノ折衝關係等ノコトニ付テ、委員側ニ於テ不審ト思フ所ナドヲ色々御尋シマシタ所ガ、商工大臣以下ノ御説明ニ依リマシテ、私共ノ不審ヲ略、一掃シテ下サイマシタ、ソコデ之ニ付テハ先キ高橋君ノ述ベラレマシタヤウニ、統合調整ヲ今一層確實ニスル爲ニ、組合制度ノ全般ニ互ッテ再檢討ヲ加ヘテ、モウ少シ平たく云ヘバ、籐ノ締直シヲシテ戴キタイト云フ附帶決議ヲ附ケマシテ、ソレカラ新シク組合ヲ作ル場合ニハ、既ニアル所ノ組合ノ實情ヲ考慮シテ貫ヒタイト云フ附帶決議ヲ附シマシテ、是ハ贊成致シマス

ソレカラ有價證券業取締法案ニ付キマシテハ、元來是ハスル營業ヲ營ム者ノ監督權ヲ嚴重ニシテ、免許制度ニシテ十分取締ルヲ云フ御趣意デアアル、ソコデソレハ最モ必要ナ點デアリマスルカラ、吾々委員側ニ於テハ政府當局ノ期待スル以上ニ、モウ少シ強クヤッテ貫ヒタイト云フ意嚮ガ、屢、此議場ニ於テ陳述サレタノデゴザイマスガ、ソレヲ參酌シテ然ルベク運用スルト云フ商工大臣ノ御言明デゴザイマスノデ、是ハ其儘デ附帶決議ナシニ贊成ヲ申上ゲマス

ソコデ貴族院ノ修正ガゴザイマスガ、是

ハ又其意味ヲ補足スル所以ト思ヒマスノ
デ、私共貴族院修正通りニ賛成致シマシテ、
サウシテ此法案ニ賛成致シマス

○林委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表シテ、
三案ニ對スル態度ヲ表明致シマス、先程高
橋委員ノ御述ニナリマシタ御意見ニ對シテ
賛成スル者デアリマス、尙ホ附帶決議ニ對
シテモ同様デアリマス、特ニ此際政府ニ希
望致シテ置キタイコトハ、此二案ニ對シテ
附セラレマシタ附帶決議ニ付テハ、此決議
ノ趣旨ヲ尊重セラレテ、之ヲ必ズ實行ニ移
サレンコトヲ希望スルモノデアリマス

○岡崎委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表シマシ
テ、本案ニ賛成ヲスルノデアリマス、竝ニ
附帶決議、貴族院ノ修正ニモ賛成スルモノ
デアリマス、唯此機會ニ希望條項ヲ述サセ
テ戴キタイと思ヒマス

一、原料輸入竝ニ爲替取極ノ許可事務ヲ
敏活且ツ適正ナラシムル爲メ商工、大
藏兩省ノ當該機關ヲ統合シ更ニ進ンデ
豫算關係事務ヲ除ク大藏省ノ部局ト商
工省トヲ合併シテ經濟省ノ如キモノヲ
設置シ貿易、産業及ビ財政ヲ一貫スル
綜合的行政ヲ確立スベシ

二、日滿支計畫經濟竝ニ國內重工業發達
ノ必然性ニ伴ヒ我國貿易ノ將來ニ重大

ナル質的變化アルベキコトヲ洞察シ政
府ハ此際民間各方面ノ代表者竝ニ專門
家ヲ包含スル一ツノ委員會ヲ設置シ其
ノ中ニ於テ我國貿易政策ヲ再檢討シ速
カニ根本方針ヲ樹立スルニ努ムベシ

三、本法ヲ基本トスル輸入制限竝ニ物資
需給統制ガ動トモスレバ大事業者ノ利
益伸張ニ終始スル憂アリ殊ニ過去ノ實
績ヲ標準トスル原料配給ノ方法ガ良質
ナル小工業ヲモ沒落セシメツ、アル傾
向アルニ鑑ミ政府ハ今後玉石混淆ノ感
アル實績主義ヲ是正シ國民經濟ノ綜合
的發展ニ立脚シテ物資需給ヲ計畫化ス
ルヤウ努力スベシ

四、政府ハ關係當局竝ニ民間ト協力シテ
堅實且ツ特色アル小工業ノ保護竝ニ其
ノ職業轉換ノ爲ニ善處スベシ

五、政府ハ速ニ重要生活必需品ノ公定價
格竝ニ消費者委員會制ヲ中心トスル物
價統制機構ヲ確立シ戰時經濟ノ進展ニ
伴フ物價騰貴ノ趨勢ニ對處スベシ

以上五ツノ希望條項ヲ附シテ賛成スル者デ
アリマス

○寺島委員長 是ニテ討論ハ終了致シマシ
タ、採決致シマス、昭和十二年法律第九十
二號改正法案及ビ商業組合法改正案ニハ附

帶決議ヲ附シ、右二案ハ原案通り、有價證
券取締法案ハ貴族院修正通り可決スルニ
御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○寺島委員長 御異議ナシト認メマス、ソ
レデハ左様決定致シマス

○寺島委員長 此際大藏當局ヨリ有價證券
引受業法案ノ提案ノ理由ヲ述ベタイトノ申
出ガアリマス、之ヲ許可致シマス

○入間野政府委員 有價證券引受業法案ノ
概略ニ付キマシテ、御説明申上ゲタイト存
ジマス、本法律案ノ目的ニ付キマシテハ、

本會議ニ於キマシテ御説明申上ゲマシタ通
リ、所謂證券引受業者ノ起債市場ニ於ケル
地位ノ重要性ニ顧ミマシテ、其業務ノ全體
ニ付キ監督ヲ爲シ、其堅實ナル發達ヲ期セ
ントスルモノデアリマス、而シテ此目的ヲ
達成致シマス爲ニ、業トシテ公債社債等ノ
引受、又ハ募集ノ取扱ヲ爲シ得ル者ハ、免
許ヲ受ケタル資本金二百萬圓以上ノ株式會
社ニ限ルコトトシ、尙ホ他業ノ兼營、商號、
資本金ノ變更、支店其他ノ營業所ノ設置、
有價證券引受業ヲ營ム會社ノ合併ニ付キマ
シテハ、認可ヲ受ケシムルコトトシ、其他
報告、検査等ニ關スル監督ノ規定ヲ設ケマ
シタ、又銀行信託會社等モ、有價證券引受

業ヲ營ンデ居リマスガ、是等ニ付キマシテ
ハ、ソレノ從來ヨリ監督法規ガアリ、相
當ノ監督ヲ致シテ居リマスノデ、之ヲ本法
ノ適用範圍ヨリ除外スルコトト致シタノデ
アリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラシ
コトヲ希望致シマス

○寺島委員長 次會ハ二十二日午後一時ヨ
リ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマ
ス

午後二時十三分散會

昭和十三年三月二十日印刷

昭和十三年三月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局